

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月5日

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下 小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田 洋憲 (TEL) 03-4463-8404
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	98,038	7.7	19,399	12.4	20,613	15.6	15,409	16.9
2018年3月期第2四半期	90,997	7.7	17,263	17.2	17,831	25.5	13,181	24.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 16,669百万円(△0.2%) 2018年3月期第2四半期 16,707百万円(124.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	103.53	—
2018年3月期第2四半期	87.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	230,566	182,482	78.4
2018年3月期	246,040	176,364	71.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 180,768百万円 2018年3月期 174,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	32.00	—	36.00	68.00
2019年3月期	—	40.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	42.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	205,500	6.3	38,100	8.9	40,100	10.7	30,000	10.5
								201.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	149,000,000株	2018年3月期	151,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	511,222株	2018年3月期	1,534,562株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	148,836,896株	2018年3月期2Q	150,826,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2018年11月5日(月)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け説明会の説明内容(音声)については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の国内景気は、堅調な企業業績を背景に、設備投資の増加、雇用・所得環境の改善など、緩やかな回復基調が続きました。当社グループの事業につきましては、化学品部門は、前年同期比で基礎化学品が増収、ファインケミカルは減収となりました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料、半導体材料が順調に推移しました。農業化学品部門は、フルラネル（動物用医薬品原薬）の出荷が伸長しました。医薬品部門は、出荷時期のずれ等により増収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の通りとなりました。（単位：百万円）

	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	2019年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比増減
売上高	90,997	98,038	+7,041
営業利益	17,263	19,399	+2,135
経常利益	17,831	20,613	+2,781
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,181	15,409	+2,228

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミン（合板用接着剤原料等）が増加しましたが、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）の販売は減少しました。ファインケミカルでは、「テピック」（封止材用等特殊エポキシ）の出荷が落ち込んだ一方、「ハイライト」（殺菌消毒剤）は増収となりました。また、原燃料価格や運賃の上昇がありましたが、価格改定により部門全体の利益は維持されました。

この結果、当部門の売上高は169億81百万円（前年同期比2億75百万円増）、営業利益は11億45百万円（同1億19百万円減）となりました。

機能性材料部門

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）のスマートフォンなど中小型向けが好調でした。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC®）および多層材料（OptiStack®）が一部顧客の新規工場稼働開始により増収となりました。無機コロイド材料は、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）の一般用途向けが増加しましたが、オルガノシリカゾル・モノマーゾル（各種コート剤、樹脂添加剤）は減収となりました。オイル&ガス材料（シェールオイル・ガス採掘効率向上材）は増収となりました。

この結果、当部門の売上高は319億67百万円（前年同期比28億44百万円増）、営業利益は81億20百万円（同4億54百万円増）となりました。

* ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

農業化学品部門

フルラネルの出荷は順調に推移しましたが、「ラウンドアップ」（非選択性茎葉処理除草剤）は前期における出荷前倒しに加え、日本国内の猛暑や自然災害の影響で減収となりました。「アルテア」（水稻用除草剤）の販売は海外向けの出荷が10月以降にずれ減収となりましたが、そのほか海外向け農薬は堅調でした。

この結果、当部門の売上高は286億80百万円（前年同期比25億32百万円増）、営業利益は98億46百万円（同17億8百万円増）となりました。

医薬品部門

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は、海外向けの出荷前倒しがあり増加しました。「ファインテック」（医薬品研究開発参加型事業）は出荷時期のずれ等により増収となりました。

この結果、当部門の売上高は37億16百万円（前年同期比1億98百万円増）、営業利益は6億5百万円（同94百万円増）となりました。

卸売部門

当部門の売上高は334億43百万円（前年同期比43億79百万円増）、営業利益は11億円（同2億44百万円増）となりました。

その他の部門

当部門の売上高は105億2百万円（前年同期比8億38百万円増）、営業利益は2億35百万円（同76百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比154億74百万円減の2,305億66百万円となりました。

負債も借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比215億92百万円減の480億83百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比61億17百万円増の1,824億82百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比7.4ポイント増加し、78.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、291億45百万円の収入（前年同期は300億35百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、59億66百万円の支出（前年同期は62億65百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、314億78百万円の支出（前年同期は267億87百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額90百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して82億9百万円減少し、294億93百万円（前年同期は327億33百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想に関しましては、第2四半期累計期間および足元での需要予測をもとに、前回発表予想値を下記の通り修正いたしました。

2019年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：億円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績
売上高	2,040	2,055	+15	+0.7%	1,934
営業利益	368	381	+13	+3.5%	350
経常利益	380	401	+21	+5.5%	362
親会社株主に帰属する 当期純利益	285	300	+15	+5.3%	271
1株当たり当期純利益	191円76銭	201円79銭	—	—	180円30銭

2019年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想数値の修正

(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想
化学品	380	378	39	39
機能性材料	625	638	141	153
農業化学品	630	626	177	184
医薬品	72	70	15	12
卸売	647	663	20	21
その他	236	225	2	6
調整額	△550	△545	△26	△34
計	2,040	2,055	368	381

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。なお、株主還元につきましては、2016年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」において、配当性向を2019年3月期に向けて40%まで段階的に引き上げることに加え、総還元性向70%の維持を目標としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,702	29,493
受取手形及び売掛金	65,422	53,451
商品及び製品	29,855	31,768
仕掛品	115	839
原材料及び貯蔵品	7,797	9,002
その他	4,748	3,649
貸倒引当金	△34	△38
流動資産合計	145,606	128,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,411	24,755
その他（純額）	30,062	29,903
有形固定資産合計	54,473	54,658
無形固定資産		
ソフトウェア	775	794
その他	993	869
無形固定資産合計	1,768	1,663
投資その他の資産		
投資有価証券	38,517	40,600
その他	5,766	5,569
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	44,191	46,077
固定資産合計	100,433	102,400
資産合計	246,040	230,566

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,579	16,595
短期借入金	26,145	6,172
未払法人税等	5,156	5,318
賞与引当金	2,011	2,026
役員賞与引当金	27	12
その他	10,950	12,168
流動負債合計	62,871	42,294
固定負債		
長期借入金	2,446	1,569
事業構造改善引当金	516	409
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	126	149
その他	3,406	3,352
固定負債合計	6,804	5,789
負債合計	69,675	48,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	133,822	135,177
自己株式	△5,962	△2,290
株主資本合計	160,416	165,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,653	14,504
為替換算調整勘定	125	455
退職給付に係る調整累計額	390	364
その他の包括利益累計額合計	14,170	15,325
非支配株主持分	1,778	1,714
純資産合計	176,364	182,482
負債純資産合計	246,040	230,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	90,997	98,038
売上原価	51,702	54,961
売上総利益	39,294	43,077
販売費及び一般管理費	22,030	23,677
営業利益	17,263	19,399
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	311	332
持分法による投資利益	445	408
その他	491	1,023
営業外収益合計	1,261	1,777
営業外費用		
支払利息	73	59
固定資産処分損	223	315
休止損	218	134
その他	177	52
営業外費用合計	692	563
経常利益	17,831	20,613
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	17,831	20,613
法人税、住民税及び事業税	4,778	5,397
法人税等調整額	△245	△276
法人税等合計	4,533	5,121
四半期純利益	13,298	15,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,181	15,409

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	13,298	15,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,562	850
為替換算調整勘定	△127	352
退職給付に係る調整額	△25	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	3,408	1,176
四半期包括利益	16,707	16,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,608	16,564
非支配株主に係る四半期包括利益	99	104

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,831	20,613
減価償却費	4,735	5,049
受取利息及び受取配当金	△324	△345
支払利息	73	59
固定資産処分損益 (△は益)	223	315
売上債権の増減額 (△は増加)	9,676	12,093
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,221	△3,739
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,109	△2,054
その他	1,887	1,607
小計	32,990	33,600
利息及び配当金の受取額	770	789
利息の支払額	△73	△60
法人税等の支払額	△3,651	△5,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,035	29,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5	△905
投資有価証券の売却による収入	65	398
有形固定資産の取得による支出	△6,436	△5,168
有形固定資産の除却による支出	△190	△268
無形固定資産の取得による支出	△293	△116
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	601	91
長期前払費用の取得による支出	△54	△13
その他	48	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,265	△5,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,954	△19,650
長期借入金の返済による支出	△1,535	△1,277
配当金の支払額	△4,249	△5,380
非支配株主への配当金の支払額	△39	△167
自己株式の取得による支出	△5,001	△5,002
その他	△8	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,787	△31,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	90
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,968	△8,209
現金及び現金同等物の期首残高	35,701	37,702
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,733	29,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年4月24日の取締役会決議に基づき、2018年5月8日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。加えて、2018年8月21日の取締役会決議に基づき、2018年8月31日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金が8,674百万円、自己株式が8,674百万円減少しております。

また、2018年5月11日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が4,999百万円増加しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,138	25,812	24,254	3,491	21,654	3,645	90,997	—	90,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,566	3,310	1,893	26	7,410	6,018	23,225	△23,225	—
計	16,705	29,123	26,147	3,518	29,064	9,663	114,223	△23,225	90,997
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,264	7,666	8,138	510	856	158	18,595	△1,331	17,263

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,331百万円には、セグメント間取引消去△131百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,199百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,299	28,403	26,732	3,716	23,115	3,771	98,038	—	98,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,681	3,563	1,947	—	10,327	6,731	27,252	△27,252	—
計	16,981	31,967	28,680	3,716	33,443	10,502	125,291	△27,252	98,038
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,145	8,120	9,846	605	1,100	235	21,054	△1,655	19,399

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,655百万円には、セグメント間取引消去△205百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,450百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。